

水ギョーザ作りともちつきで国際交流  
日中の交流を深め合う

2月28日、農村環境改善センターにおいて、亀田郷訪中懇話会とよごし国際交流協会の主催により、「中国人留学生との交流会」が開催されました。

招かれた12名の中国人留学生が今年3月に帰国することから、主催者側では日本の思い出作りにと企画し、前日には9名が町内の家庭でホームステイをしました。

当日は調理室で参加者全員が水ギョーザ作りに挑戦し、留学生から皮の作り方や、ニラやセロリなどの具の分量などを教わりながら作ったほか、もちつきも体験し、日中の交流を深め合っていました。

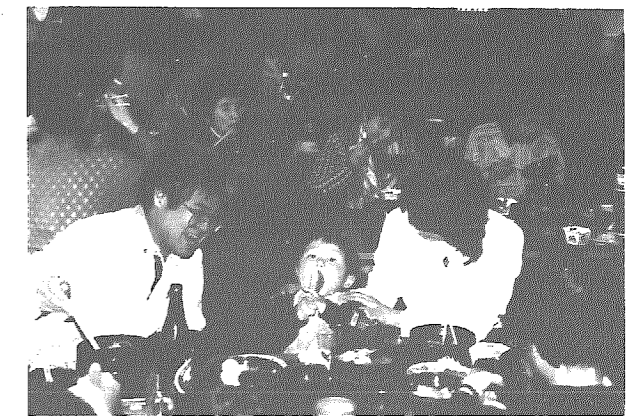


横越産にこだわった料理に舌鼓  
「よごしの味を楽しむ集い」開催

3月7日、北方文化博物館の食事処「みそ蔵」において、阿賀の里づくり・よごしの主催による「よごしの味を楽しむ集い」が開催されました。

4回目となる今回は、町内外からおおよそ110名が参加し、当日は、おいしい料理を味わってもらおうとスタッフが朝早くから調理をして準備していました。

よごし鍋やながいもの天ぷら、手造りソーセージ、梨のワイン煮など10数品の料理がお膳で出され、すべて横越産の食材で作ったものばかりということで、参加者は「よごし」の味に舌鼓を打っていました。



横越中学校で卒業式  
140名が思い出を胸に旅立つ

3月11日、横越中学校で卒業証書授与式が行われました。9年間の義務教育を修了した中学校生徒は140名。先生や保護者、来賓から、卒業生に対してはなむけの言葉が寄せられました。

樋熊校長先生から「感謝すること、苦しくても学び続けること、自分のよさを生かしていくことを忘れないでがんばってください」と卒業生たちを励ましました。

また、中学校生活の様子を収めた写真やビデオを大型スクリーンに映しながら、思い出の3年間を振り返って、中学校生活との別れを惜しみました。



お参りとお菓子まきで大賑わい  
年に1度の酒呑み地蔵ご開帳

3月21日、小杉の法幢寺で、年に1度の酒呑み地蔵のご開帳が行われました。

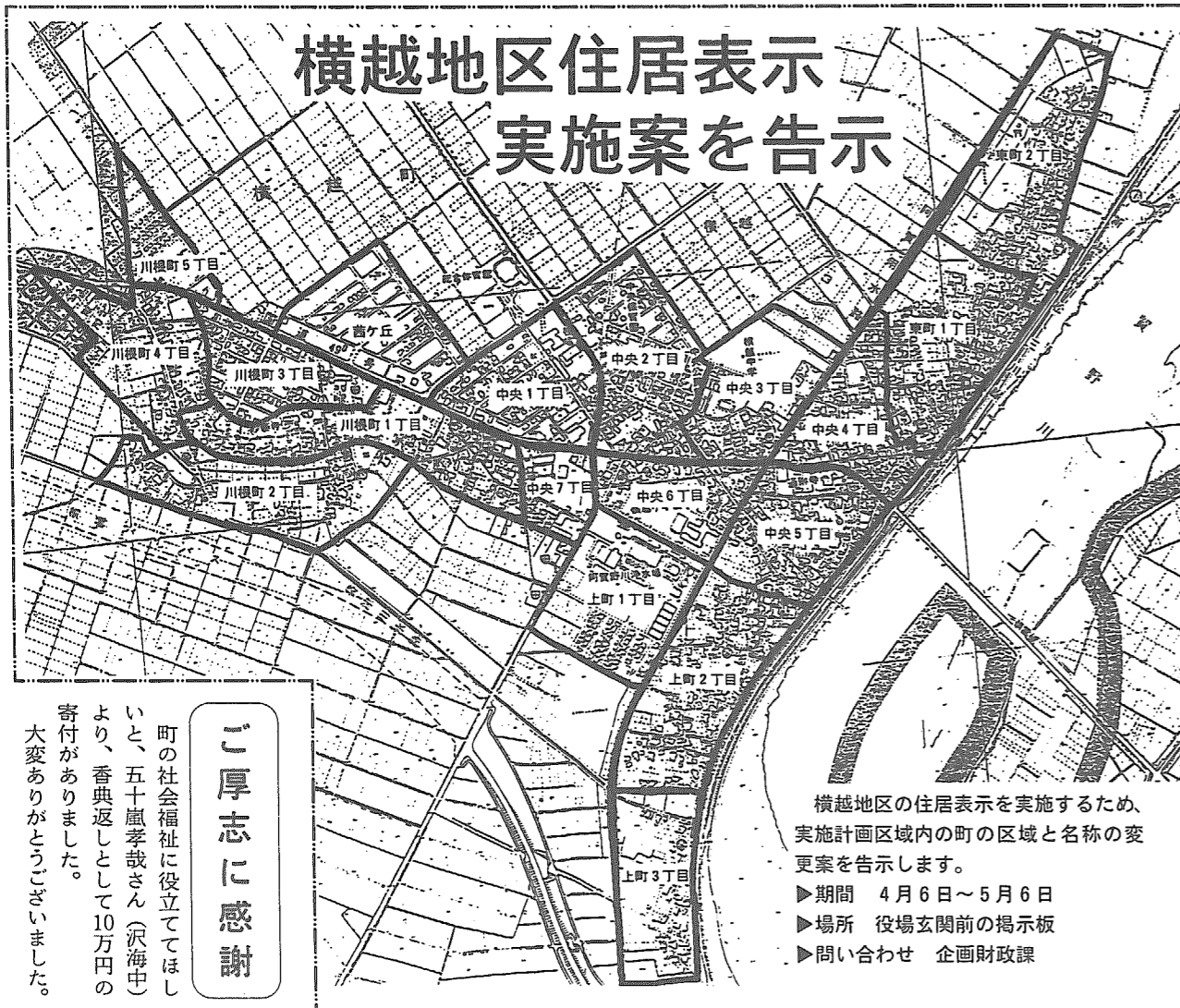
名前の由来は、一銭も払わずお酒を飲み続けた小僧に店の主人が怒り、ナタを投げたところ運悪く小僧のかかとに当たり、主人がその血の跡をたどると、法幢寺のお地蔵様の前で消えていたことから名付けられたとのこと。

当日は、町内外から、子どもからお年寄りまで多くの人たちが集まり、読経の中、それぞれの願いを込めて、次々と酒呑み地蔵にお参りをしていました。その後、お菓子まきが盛大に行われ、賑わいを見せていました。



訂正 地域振興券の交付が3月21日に開始されました。振興券と一緒に配付の「横越町地域振興券取扱店」の本津地区の「カットサロンなかざわ」は、正しくは「カットサロンながさわ」でした。訂正してお詫びいたします。

横越地区住居表示  
実施案を告示



横越地区の住居表示を実施するため、実施計画区域内の町の区域と名称の変更を告示します。

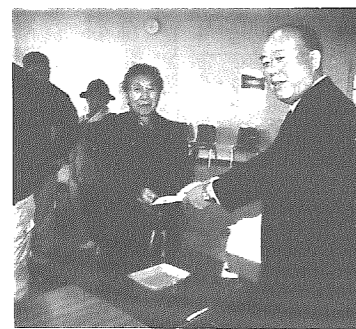
- ▶期間 4月6日～5月6日
- ▶場所 役場玄関前の掲示板
- ▶問い合わせ 企画財政課

ご厚志に感謝

町の社会福祉に役立ててほしいと、五十嵐孝哉さん(沢海中)より、香典返しとして10万円の寄付がありました。大変ありがとうございます。

地域振興券 交付  
9月20日まで使えます

3月21日、町内4会場地域振興券が交付されました。対象者は約2,800人。交付窓口で振興券を受け取る



と、一枚一枚数える姿や、さっそく店で商品を買う姿が見られました。なお、地域振興券は、ステッカー(左の写真)の貼ってある町内約160店舗で、今年9月20日まで使用できます。



4月1日～7日は「春の火災予防運動」

空気が乾燥し、風の強い日が多く、火災が発生しやすい時期になりました。火の元には十分注意してください。

火の用心  
7つのポイント

◎家のまわりに燃えやすいものを置かない。

- ◎電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ◎天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ◎寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ◎風の強いときは、たき火をしない。
- ◎ストーブには、燃えやすいものを近づけない。
- ◎子供には、マッチやライターで遊ばせない。



気をつけて はじめはすべて 小さな火